



風っ子・環境キャンペーン

伊勢崎市

毎月アルミ缶を回収 活動で育てる環境意識

伊勢崎市立あずま北小学校



たくさん集まったアルミ缶と、回収にたずさわった環境美化委員たち

伊勢崎市立あずま北小学校（国定町）では10数年前から、1カ月に1度、アルミ缶の回収をしています。実施するのは、第2もしくは第3水曜日（国定町）の朝。児童たちはアルミ缶の回収袋を手に登校し、校門のところで環境美化委員に手渡します。

渡します。

この活動に欠かせないのが、各家庭の協力。毎年4月、学校から回収日を組み込んだ年間行事予定表を配ると、それを見た児童の家族が、アルミ缶をためておいてくれるのです。回収日前日には、委員が各教室を回って直接協力を呼びかけます。そのほかにも全校集会の中で回収したアルミ缶について説明。業者に引き取ってもらって得た収益金は、クラブ活動に必要な道具や、みんなでかわいがっているウサギのケージを買うなど、学校生活に役立てられていることをクイズ形式で紹介し、目的と結果を児童の興味を引く方法で伝えることで、協力を得やすくなっているようです。



校門前で手際よくアルミ缶をネットに入れかえます

「回収しているとき、手が汚れることもあるけれど、みんなの役に立っているならいいかな」と朗らかに笑うのは、委員長の出石尚義さん（6年）。学校以外の道ばたに捨てられているアルミ缶にも目がいくようになったそうです。日々の活動で、環境意識が高められています。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

伊勢崎市立あずま北小学校

栗原正治校長 508人
伊勢崎市国定町2丁目1627番地
TEL:0270-63-1333
創立/1987(昭和62)年
<http://www.isesaki-school.ed.jp/azumakitasyo/>



つづけることって大事なんだね。

人なつこい素直な児童たち。校内は、明るくおだやかであたたかな雰囲気です。イクメンが多いのも本校ならではの特長です。

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」許諾第29-110989号

身近にできるエコ活動

必要な分だけ買いましょう!

ごみの発生を少なくする方法の一つに、余分なものを買すぎないことがあります。「冷蔵庫にまだあるのでは?」「こんなに買って食べきれない?」なんて思うことありませんか。必要な分だけ買うことで、結局はごみが少なくなります。「もったいない」は日本に古くから伝わる3R全てを表すことのできる大切な言葉。みんなも「もったいない」の気持ちを忘れないようにしましょう。

群馬県環境アドバイザー 須永徹